

(様式第1号)

**指定管理者制度導入施設モニタリング票（評価対象年度:令和2年度）**

施設の名称	名取市サイクルスポーツセンター
指定管理者の名称	セントラルスポーツ・HACHI・ホテル佐勘共同企業体 代表企業 セントラルスポーツ株式会社 代表取締役 後藤 聖治
施設所管部課（室）	生活経済部商工観光課

**1. 管理形態の推移 【施設所管課記入】**

期間	管理形態	指定管理者（管理受託者）	摘要
令和2年4月1日～	指定管理者	セントラルスポーツ・HACHI・ホテル佐勘共同企業体 代表企業 セントラルスポーツ株式会社 代表取締役 後藤 聖治	

(注) 管理形態欄には、直営・管理受託・指定管理者の別を記入

**2. 現指定管理者の概要 【施設所管課記入】**

指定管理者の名称	名称	セントラルスポーツ・HACHI・ホテル佐勘共同企業体 代表企業 セントラルスポーツ株式会社 代表取締役 後藤 聖治
	所在地	東京都中央区新川一丁目21番2号
指定期間	令和2年4月1日～令和5年3月31日（3年）	
募集方法	公募 ・ 非公募	

**3. 施設の概要 【施設所管課記入】**

施設の名称	名取市サイクルスポーツセンター
所在地	名取市関上字東須賀2-20
設置年月	令和2年10月3日
根拠条例等	名取市サイクルスポーツセンター条例
設置目的	市における地域の活性化及び市民の健康増進に資することを目的とする。
施設の内容	スポーツ・レクリエーション施設
開館時間	午前9時
休館日	無休（※日帰り温泉は毎月第2水曜日休み）
指定管理者が行う管理運営業務	施設の使用の許可、維持・管理、その他市長が必要と認める業務
利用料金制度	採用の有無 有 ・ 無
	利用料金の名称

#### 4. 施設の利用実績 【指定管理者記入】

	評価対象年度 (A)	前年度 (B)	前々年度	評価対象年度の 対前年度比 (%) (A) / (B)
	令和2年度	令和元年度	平成30年度	
開催日数	174日			皆増
延べ利用者数	84,390人			皆増
利用者数 (人/日)	485.0人/日			皆増
主な増減原因	屋外施設入場者が好調に推移したが、宿泊と日帰り温泉はGoToの停止やコロナによる影響を受けて見込みを下回る結果となった。			

(注) 対象施設が複数ある場合は、施設ごとに記入すること。

#### 5. 管理運営の収支状況 【指定管理者記入】

##### (1) 収入

(単位：千円、%)

	評価対象年度 (A)	前年度 (B)	前々年度	評価対象年度の 対前年度比 (%) (A) / (B)
	令和2年度	令和元年度	平成30年度	
指定管理料	110,000			皆増
利用料金収入	-			-
その他	-			-
収入計 (ア)	110,000			皆増

##### (2) 支出

人件費	60,566			皆増
施設管理費	19,308			皆増
事業運営費	23,864			皆増
その他	-			-
支出計 (イ)	103,738			皆増

##### (3) 収支

収支 (ウ) = (ア) - (イ)	6,262			皆増
前期繰越収支差額	0			-
次期繰越収支差額	6,262			皆増

## 6. サービス向上や利用者数の増加等のために実施した主な取り組み 【指定管理者記入】

- ・温泉イベント  
男女風呂入替（一週間毎）、ゆず湯（12/18～20）、回数券購入者バスタオル無料券プレゼント（12/1～31）、新春ゆべしプレゼント（1/～3）、かりんとう饅頭プレゼント（1/4）、松湯（1/9～11）、ひのき風呂（1/18～31）、だいこん湯（2/18～21）、よもぎ湯（3/12～14）
- ・自転車教室  
自転車体験会（10/3～31）（11/1～30）、乗れない子供の自転車教室（11/3）、サイクリングツアー・半日ライド（11/8、15）108煩惱チャレンジライド（12/27）
- ・宮城県とインバウンド誘致による閑上地区への観光プログラムの開発やワーケーションプログラムの造成。
- ・ワーケーションの営業活動強化
- ・セグウェイ講習 毎月実施。
- ・接客 周辺観光の案内や来館者への資料配布等による誘致活動。
- ・販売 閑上コーヒーや閑上お香を開発し販売している。

## 7. 施設利用者の主な声やその対応状況 【指定管理者記入】

- ・レンタル自転車  
土・日のレンタル自転車待ち時間が長いとの声を反映し整理券を配布。また、混雑緩和策として3月に受付PC1台増設。  
外部貸出し用自転車が分かりにくかった為外に設置した。屋外施設利用者の再入場確認が難しかったが、再入場ネームプレートを出入口に設置し、スタッフ1名配置にて入場者へご案内。
- ・温泉  
「温度がぬるい」との声があり、温度調節を行いあつめ・ぬるめを表示した。お客様の声を反映し、レンタルバスタオルと風呂場のごみ箱、ラックを追加した。
- ・宿泊  
宿泊者の要望を反映してレンタルポット・加湿器の設置、アメニティグッズ追加した。
- ・レストラン  
テイクアウトフードを追加した。  
宿泊者の食事について和食の要望が強く、「若草寿司」の提供。

## 8. 施設の管理運営における課題 【指定管理者記入】

- ・スポーツエリアの使用ルールの整備→看板での設置が必要。（サイクルの規約は掲示済み）
- ・連泊利用者及びリピーターへの食事メニュー対応や季節に応じた夕食メニューの改善。
- ・和室大部屋の稼働率改善。
- ・和室団体利用の販売客室稼働率アップ。（和室10名部屋、20名部屋の稼働率が低い為）
- ・コロナ後の営業を見据えた宿泊事業の営業活動（団体顧客の獲得、全国からの誘客、インバウンド受け入れ準備など）

9. 管理運営状況 【施設所管課及び指定管理者記入】

評価項目		着眼点	自己評価	所管評価
1. 実施体制に関する評価	管理運営体制	管理運営に必要な人員配置、組織体制を整備している。	○	○
		業務に必要な職員研修や教育等を適切に行っている。	○	○
		各種管理記録を適切に整備、保管している。	◎	◎
	施設等の維持管理等	施設、設備等の清掃、保守点検、修繕等を適切に行っている。	○	○
	安全対策	日常の安全管理や緊急時のマニュアル整備等の体制を整備している。	○	◎
	個人情報の保護	個人情報の管理を適切に行っている。	◎	◎
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	○	○
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	○	○
	法令等の遵守	特定の者に有利又は不利な取扱いをしていない。	○	○
		開館時間、休館日、使用許可等の運用が法令等に基づき適正に行われている。	○	○
その他、関係法令等が遵守されている。		○	○	
2. サービスの内容や水準に関する評価	指定事業の実施	事業計画書等に基づき適切に事業を実施している。	○	○
		業務の再委託は事前に市の承諾を受け、委託先の業務を適切に管理している。	○	○
	自主事業の実施	施設の設置目的に沿った自主事業を実施している。	○	○
	利用者の満足度向上	利用者の満足度向上に向けた取組みを行っている。	○	○
	利用者の苦情、要望等の把握とその対応	利用者アンケートなど、利用者ニーズの把握にむけた取組みを実施している。	△	△
		苦情、要望等について、受付窓口の整備や対応を適切に行っている。	○	○
	利用状況等	利用者数、稼働率等は、前年度実績や目標と比較し妥当な水準である。	△	○
3. 経営状況に関する評価	収支状況等	事業計画書等に基づく妥当な事業収支である。	○	○
		経費の節減や使用料収入の向上に向けた取組みを行っている。	○	◎
		専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	○	○

**【評価の基準(目安)】**

評価		評価の考え方
◎	(優 良)	協定書や事業計画書等より優れた内容で管理運営を行った。
○	(良 好)	協定書や事業計画書等に基づき適正な管理運営を行った。
△	(課題有)	協定書や事業計画書等を下回る内容であり、一部の業務に改善が必要である。
×	(要改善)	協定書や事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われなかったため、改善を要する。

※該当しない項目については、「—」を記入する。

**10. 施設所管課の総合評価 【施設所管課記入】**

令和2年10月のオープンから令和3年3月までの6か月間、特に大きなトラブルも無く運営を継続しており、新型コロナウイルス感染症の状況においても感染拡大防止対策を徹底し、屋外施設の利用者数は当初の目標値を大幅に達成している。  
 また、コロナ禍の状況により目標値には届かなかったものの屋内施設の利用についても、季節に応じて「ゆず湯」「ひのき風呂」「よもぎ湯」といった温泉イベントの実施をするなど施設利用の推進に努めていた。  
 施設利用者からの苦情、要望についても耳を傾け利用者に優しい施設運営を心がけており、これらを踏まえ「事業計画書等に基づき適切に事業を実施している」について良好と評価した。

※以下、個別評価について

○実施体制に関する評価

限られた人員のなかで新型コロナウイルス感染症といった予想外の状況下、大きなトラブルも無く運営を継続している点を踏まえ良好と判断した。

○サービスの内容や水準に関する評価

利用者からの要望や苦情に真摯に耳を傾け利用者に優しい施設運営を心がけており、コロナ禍の状況でも予防対策を徹底しながら可能な限り自主事業により施設の設置目的に沿った取り込みを行っている点を踏まえ概ね良好と判断した。

○経営状況に関する評価

備品の修繕など、可能な限り直営で対応し経費節減に努め、自主事業による使用料収入の向上に向け積極的に取り組む姿勢は大いに評価できる。今後も、民間で培ったノウハウを存分に発揮し円滑な管理運営と当施設の更なる利用促進に繋がることを期待する。